

生活科の実践



札幌市

生活科

2年

家族の中の自分の役割を考える！

みんなだいすき

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>
この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます



内容（2）（8）（9）に関連する単元です。お手伝い名人を目指すということだけでなく、「そのような年齢になったんだよ」「幼稚園とは違うんだね」といた自尊心を育てるこ^トとを大切にしていきました。家族における自分の役割を理解した上で、「自分のことは自分で」ということに気付き、実行できることが自立への基礎を養うことにつながります。

学習活動の流れ（13時間）

「忍者」という設定で、こっそり見えてきたことや顔の表情などもメモさせていきます。

どのような意図でこの活動をしているのかを共通理解するため、家庭への協力を依頼します。

家族から「お願い」を書いた手紙をもらい、自分をパワーアップさせるきっかけにしました。

手紙を書くことで、自分の誓いや家族との約束ができました。

忍者になって、家族の家の仕事を見つけよう（2）

- ・料理・洗濯・掃除・庭仕事……
- ・家の仕事はたくさんある！
- ・自分たちもできるかなあ

家族の仕事体験大作戦（9）

- ・クラスみんなでおむすび大会（3）
- ・お家の人と作ってみよう（2）
- ・お家の仕事に1週間挑戦だ（4）

～自分パワーアップ大作戦開始！（家庭で）～

自分パワーアップ大作戦報告会をしよう（2）

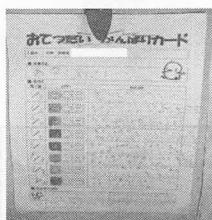
- ・お家の人に手紙を書こう

お手伝いを通じ、家族とふれあいを深めていくということは、とても大切なことです。生活科のねらいの一つである、思い、願いをふくらませることを加え、活動をパワーアップさせていきました。



どんな仕事があったの？

教材・活動の Point!

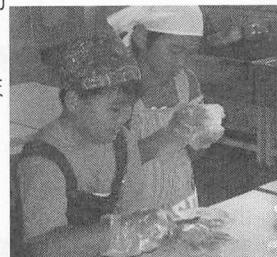


1. 学校と家庭をカードでつなげる

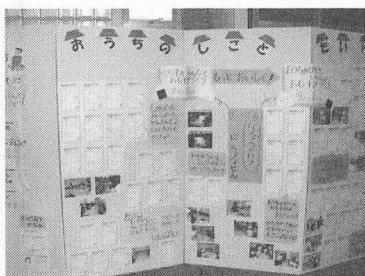
家族単元の活動は、家庭に任せる部分が多くなってしまいます。そこで、家庭での活動を見取る手立てとしてカードを用意し、「おうちの仕事」に対する振り返りを学校で記入させていきました。それをもとに、子どもの意識を見取り、即時的にかかわることができます。

2. 共通体験におむすびづくりを

「おむすびづくり」は、どの子も楽しんでできる活動で、形、大きさ、にぎり加減など適度な難しさあります。1回目は子どもたちだけで、2回目はお家の人と作りました。こつを教えてもらったり、ほめてもらったりして、お家の人と一緒にすると楽しいことを実感できました。友達と比べ考えることの土台にもなります。



3. かかわりを生み出す環境構成



個々の活動が多くなるので、おてつだいがんばりカードを常に掲示しておき、「他の仕事に興味を広げる」「友達のよさを取り入れる」「意欲の持続」といった思いや願いを引き出すようにかかわっていました。友達とのかかわりを生み出すのに有効な手立てになりました。